

令和 2 年 1 1 月 9 日

都市整備部街づくり事業課

「東京外かく環状道路工事現場付近での陥没事象及び実施中の調査のご説明」の開催結果概要について

1 日時等

(1) 日時

- ・ 令和 2 年 1 1 月 6 日 (金)
午後 7 時～午後 9 時 5 分 (8 3 名参加)
(市議：川畑委員長)
- ・ 令和 2 年 1 1 月 7 日 (土)
午後 1 時～午後 2 時 5 0 分 (7 6 名参加)
- ・ 令和 2 年 1 1 月 7 日 (土)
午後 3 時 3 0 分～午後 5 時 3 0 分 (4 7 名参加)
(市議：渡辺議長)

(2) 場所 調布市立滝坂小学校



当日の様子 (11/6 (金) 午後 7 時開始)

2 住民からの意見要旨

【新たな空洞について】

- ・ 新たに見つかった空洞の埋め戻しに要する日数は。いつから行うのか。
また、埋め戻しにはどのような材料を用いるのか。
- ・ 空洞から採取した地下水の水質データを公表してほしい。
- ・ 新たな空洞が発見されたのが11/2で、公表したのが11/4である。公表まで時間を要した理由は。すぐに公表すべき。
- ・ 自宅の下に空洞がないか心配である。調査はしてくれるのか。

【陥没時の事業者の対応について】

- ・ 陥没発生時の時系列がおかしい。ネクスコ東日本は誰が来たのか教えてほしい。また、国交省は現地に来たのか。

【事前の地質調査の実施について】

- ・ 工事着手前に実施した地質調査はいつどこでやっていたのか。
- ・ 新たに空洞が見つかったネクスコ中日本所有用地ではなぜ事前にボーリング調査を行わなかったのか。

【データ等の公表について】

- ・ 毎日計測している地盤計測のデータ等を公表してほしい。
- ・ 新横浜トンネルの陥没時は報告書が公表された。本件についても、同程度の資料の公表はすべき。
- ・ 影響範囲に対して調査範囲が狭すぎる。もっと広範囲で実施すべき。

【トンネル施工等検討委員会について】

- ・ 検討委員会のメンバーに地元が推薦する委員はいれられないか。
- ・ 検討委員会の資料や議事録を公表してほしい。

【住民対応について】

- ・ 陥没事故発生前はいつ通過する等のビラが入っていたが、今回の住民説明会の周知範囲は狭くなっている。もっと広く周知すべき。
- ・ 本説明会を聞きたい人が大勢いた。せめてオンライン配信をすべき。
- ・ 次回の説明会はいつ頃実施予定か。早めに実施してほしい。
- ・ 陥没が発生したが、緊急時マニュアルは全く機能しなかった。改善する予定はあるのか。

【振動・騒音について】

- ・ 東つつじヶ丘2丁目と他の地域ではどの程度振動が違っていたのか。
- ・ シールド掘進中、騒音・振動で気分が悪くなった。低周波の測定を実施してほしい。
- ・ 外環が開通した際、大型車等により振動等が発生しないか心配。

【大深度法について】

- ・ 地上に影響がないことを前提に実施されている事業なのに、振動・騒音被害が発生していること自体がおかしい。
- ・ 大深度法では直上の人にはメリットが全くない。税控除など公平性のあるものとするべき。

【その他】

- ・ 土地の価格が下落した際の補償はあるのか。
- ・ シールドが再開する際の判断は誰が行うのか。
- ・ 一番の心配は工事中及び完成後の安全。
- ・ 今後の北行シールド通過時や、開通後の振動や陥没が心配。